

平成 28 年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：神岡での重力波観測（X V）

英文：Gravitational Wave Detector in Kamioka (X V)

研究代表者 大橋正健（東大宇宙線研）

参加研究者 東大宇宙線研 三代木伸二、内山隆、宮川治、山元一広、廣瀬榮一、
端山和大、栗井恭輔、戸村友宣、上泉眞裕

東大地震研 新谷昌人

国立天文台 麻生洋一

産総研 寺田聡一

大阪市大 田越秀行

長岡技術科学大 高橋弘毅

研究成果概要

CLIO 本体は、水没事故以来、復旧作業を続けているが、まだ稼働できる状況にない。また、現在は KAGRA に研究者のマンパワーをつぎ込んでおり、早急に CLIO を復旧させる見通しがついていない。ただし、CLIO で初期試験された低温ミラーとその防振系、懸架系がつぎつぎと出来上がりつつあり、重力波の研究全体としては十分な成果があったと考えている。

整理番号 F18